

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

一 防災対策の向上について

(一) 避難所開設訓練のさらなる普及について

- ア 自治会主導の防災訓練の参加人数等について
- イ 現状での避難所開設訓練の進捗状況について

【要旨】ア 昨年、北海道胆振東部で地震があり、先

日は九州地方で警戒レベル五の大雨が降った。今後、北区でも地震や記録的大雨が降ってもおかしくない。

そのようななか、防災訓練は非常に重要なもの。そこでまず確認したい。自治会主導の防災訓練の参加人数や参加率をどこまで把握しているのか。

イ 大規模災害時は、避難所のスムーズな開設が不可欠。北区では意識をして進めていると聞いており、非常に素晴らしい。現状での避難所開設訓練の進捗状況を示してください。

すどう あきお	公 明	個 人	七
---------	-----	-----	---

一 (一) ア・イ

はじめに、防災対策の向上についてのうち、

避難所開設訓練のさらなる普及についてお答えします。

まず、防災訓練の参加人数等についてです。

自主防災組織が訓練を行う場合、

訓練の実施日や内容及び参加予定者などを

訓練計画書で事前に区へ報告していただいています。

この計画書によりますと、平成三十年度の参加者は、

延べ約一万三千人となっています。

なお、参加率については、

訓練を複数実施した組織があるため、

総人口に対する参加率は把握していません。

次に、避難所開設訓練の進捗状況です。

避難所開設訓練については、

通常の震災訓練に加え実施することになるため、

すべての自主防災組織では行っていませんが、

(後頁へ続く)

すどう あきお	公 明	個 人	七
---------	-----	-----	---

(前頁から続く)

近年、訓練の必要性をご理解いただき、

実施か所数が増えてきており、

今年度は、十か所を超える避難所で実施予定です。

区としましては、

五十八あるすべての避難所において

一度は訓練を実施していただくことを目指し、

引き続き、取組んでまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

一 防災対策の向上について

(一) 避難所開設訓練のさらなる普及について

ウ 地区防災運営協議会の進め方について

【要旨】地区ごとにある地区防災運営協議会は、自主防災組織だけではなく、学校職員、PTA、民生委員、防災ボランティア、事業所など様々な機関が加わっており、現場最前線の組織として大変重要である。今後、どのように活用し、防災対策を進めていくのか区の方針を示してください。

すどう あきお

公 明

個 人

七

一 (一) ウ

次に、地区防災運営協議会の進め方についてです。

地区防災運営協議会は、

地区防災会議の機能を強化するため、

地域の多様なメンバーを構成員に加えたもので、

十九の地区防災会議のうち、

これまでに十二の地区で設置されています。

このようななか、地区防災運営協議会のメンバーが、

地域の円卓会議と重なるため、

浮間地区をモデルに、地域の円卓会議のなかで

防災をテーマにした会議を試みたところ、

地域の方々から継続実施のご要望がありましたので、

区では、地域の円卓会議を

地区防災運営協議会と兼ねるかたちで開催し、

議論を重ねています。

今後は、浮間地区のモデル事業を広く区内へ展開し、  
地域防災力の向上に取り組んでまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

一 防災対策の向上について

(一) 避難所開設訓練のさらなる普及について

エ 地勢的要因によるリスクについて

【要旨】各地区にはそれぞれ地域特性があるが、地勢的要因によるリスクはどこまで区で把握しているのでしょうか。また、住民への周知はどのように行っているのでしょうか。

すどう あきお

公 明

個 人

七

一 (一) エ

次に、地勢的要因によるリスクについては、

北区はJR京浜東北線沿いに

武蔵野台地の崖が連なり、赤羽地区では

この崖が荒川の手前まで伸びるとともに、

崖線が台地側に大きく入り込んでいます。

また、荒川をはじめ四つの河川が

区内を流れ、豊かな自然景観を形成しています。

このような地勢的要因は、

河川の氾濫はもとより、災害時の避難路の確保、

崖線に沿った土砂災害の危険性など

自然災害を引き起こすリスクになると認識しています。

区では、洪水ハザードマップや

土砂災害ハザードマップなどで、

区内の地勢的要因による

災害リスクの周知に努めております。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

一 防災対策の向上について

(一) 避難所開設訓練のさらなる普及について

オ 避難所の鍵の管理について

カ 避難所の喫煙所について

【要旨】先日、避難所開設訓練に参加した。訓練で出ていた課題について質問します。

オ 一つは避難所の鍵の管理。現状は町会長と地域振興にあるようだが、鍵が変更された場合の再配布や、鍵の保有を望まない方がいるようだ。葛飾区では、避難所に備えたブラックボックスで管理している。このような管理方法が望ましいと考えるが、区の見解は。

カ もう一つは喫煙所。学校は屋内・屋外が完全喫煙になっている。北区避難所運営マニュアルでは、喫煙所は原則、学校敷地を出た屋外、雨に濡れない場所となっている。具体的な目安はあるのか。避難所での喫煙スペースの確保は、喫煙者のストレス軽減、非喫煙者の副流煙被害の防止に大事だと考える。区の見解を求めらる。



すどう あきお

公 明

個 人

七

一 (一) オ・カ

次に、避難所の鍵の管理についてです。

避難所の鍵の管理は、区としても

課題であると認識しており、現在、自主防災組織や施設管理者などと協議をはじめめています。

主な課題は、鍵の保管場所とセキュリティ対策です。ご提案のボックス管理は、

有効な手立てのひとつだと認識しておりますので、他自治体の取組みも参考に、検討してまいります。

次に、避難所の喫煙所についてです。

近年の被災地実例から、避難所を取り巻く環境は大きく変化していると認識しており、喫煙所もその一つだと捉えています。

健康増進法の一部改正等を踏まえ、

喫煙所のあり方については、

北区避難所運営マニュアルの改正にあわせ合理的なルールを検討してまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

一 防災対策の向上について

(二) 小・中学生の防災対策について

## 【要旨】

避難所開設訓練や避難所体験訓練などは  
どれだけ行われているか。

また、小・中学生向けの避難所についての  
実習をしている取り組みがあるか。

子どもたちの防災意識を高めるために、  
「ジュニア防災検定」や「こども防災手帳」を  
導入してはどうか。

すどう あきお

公明

個人

七

一 (二)

次に、小・中学生の防災対策についてお答えします。  
現在、北区においては、

全区立中学校の二年生を対象に

「防災学校」を実施しており、  
防災への意識強化や災害時における

実際の避難の仕方や行動について  
学んでいます。

また、東京都安全教育推進校の

赤羽岩淵中学校を中心とする

サブファミリーにおいて

「防災教育」をテーマに

小・中合同で研究を行っており、

神谷中サブファミリーにおいても、

小・中学校と地域の共催による

総合防災訓練を実施しています。

【後頁に続く】

すどう あきお

公明

個人

七

【前頁から続く】

現在のところ、

避難所開設に特化した訓練は行っていませんが、町会・自治会の避難所開設訓練に生徒が参加し、地域と学校が連携する取り組みを今年度から進める学校もあります。

ご提案の「ジュニア防災検定」や

「こども防災手帳」の活用については、現在、全小・中学校で行っている

東京都教育委員会作成の「防災ノート」の活用状況、赤羽岩淵中サブファミリーや神谷中サブファミリーの実践を踏まえ、他自治体の取り組みも参考にしながら、研究してまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

## (質問の事項及び要旨)

二 地域猫対策、本格的な連絡協議会の設置を目指して

## 【要旨】

飼い主のいない猫の課題は、各地域で対策を打たねばならない課題である。ゴミあさり、糞尿の被害、鳴き声等の弊害があり、状況改善には、地域猫を増やさず適正管理をする必要がある。捕獲・手術・地域に戻す(TNR)運動の地域での取り組みが重要。そのためには、本格的な連絡協議会を設置し、ボランティア、町会、NPO、獣医師等と力を合わせて問題解決を図る環境整備が必要である。

地域猫の頭数や被害の現状、地域猫問題の捉え方、連絡協議会の設置について区の見解を問う。

すどう あきお

公 明

個 人

七

二

次に、地域猫対策における

本格的な連絡協議会の設置についてお答えします。

まず、地域猫の頭数につきましては、

飼い猫か地域猫であるかの識別が困難であること、

生息場所が固定されていないこと等から

現状では把握できていません。

次に、被害の現状につきましては、

保健所に寄せられた猫に関する苦情相談件数は、

平成三十年度、三百八十一件です。

その内、糞尿・悪臭、餌やりにかんすることが多く、

合わせて約百五十件程度です。

次に、地域猫問題のとらえ方についてです。

北区としましては、相談苦情が少なくない一方で、

猫は愛護動物であることを踏まえ、

猫が好きな人もそうでない人も、

【後頁へ続く】

すどう あきお

公 明

個 人

七

【前頁から続く】

猫とともに心豊かに過ごせる社会を目指しています。

そのためには、飼い主のいない猫の問題を、

地域にお住いの皆さまに

身近な問題として捉えて頂くとともに、

町会・自治会やボランティア団体、獣医師会等と行政が

緊密に連携して問題解決に取り組み、

猫を適正に管理していくための

地域の実情に応じたルールづくりを図ることが

重要であると考えています。

今後、ご提案の地域にお住いの皆さま、

町会・自治会や関係団体の方々が、

意見交換を行う連絡協議会の設置や

地域猫への不妊去勢手術の実施や、

環境整備等の活動を支援するための

ボランティア登録制度の導入等

具体的な方策を積極的に検討してまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

### 三「地域課題について」

(一) 赤羽台エレベーター周辺の諸問題について

ア、夜間におけるエレベーター外側の

防犯カメラの存在をアピールする工夫。

イ、夜間におけるエレベーター東側の

スロープ付き階段の明るさの調査、改善。

ウ、雨天時の転倒防止のため、

エレベーター西側階段の修繕。

#### 【要旨】

赤羽台エレベーターは、本年二月二十八日より開通して、地域の方に大変好評である。また、エレベーター前は道路の段差解消や緩やかなスロープの設置などにより、利便性が上がった。しかし、その一方で、夜間における防犯対策や階段の修繕などのご意見が寄せられている。



すどう あきお

公明

個人

七

### 三(一) アイウ

次に、地域課題のうち、

赤羽台エレベーター周辺の諸問題について、  
お答えいたします。

赤羽台エレベーターは、  
赤羽台トンネル入口付近の  
バリアフリー化を図るため、整備を行い、  
多くの皆さまに利用されております。

夜間における防犯カメラの存在がわかる  
案内の工夫や照度の確認、階段の修繕など、  
地域の皆さまから寄せられた  
ご意見・ご要望につきましては、  
順次、現場の調査を行い、  
それぞれ対応を検討してまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

### 三 地域課題について

- (一) 赤羽台エレベーター周辺の諸問題について  
工地域全体像の案内図設置について

#### 【要旨】

エレベーター上に、これから変わっていく赤羽台地域の入り口として、全体像の案内図設置を求めらる。

今すぐでなく、全体像が出来てからで良いが、利便性向上の為に必要と考える。

すどう あきお

公明

個人

七

三(一)エ

次に、案内図の設置についてお答えします。

本エレベーターは、地域の方々が待ち望まれた、

赤羽駅周辺と赤羽台地区を結ぶ

貴重なバリアフリールートであり、

赤羽台地域への重要な

アクセスルートになっております。

今後、本地域において実施される、

各施設の整備完了に合わせ、

赤羽台地域の入り口として、

団地や地域の全体像が把握できる

案内表示の設置について、

UR都市機構等関係者と協議・検討してまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

## 三 地域課題について

(二) 桐ヶ丘区民センターの建設について

## 【要旨】

これから建設予定の桐ヶ丘区民センターは、地元地域では、大きな期待がかけられている。

そのため、是非二つの機能を持たせて欲しい。

・既にあるふれあい館はエレベーターもなく老朽化が進んでいるため、ふれあい館機能を持たせてほしい。

・桐ヶ丘地域に図書館がなく、近隣の図書館にもエレベーターがないので、高齢者や障害者には利用が難しく、図書館機能も検討して欲しい。

また、建設場所についても、なるべく多くの方が利用しやすい場所に建設することが非常に大事である。

現時点での桐ヶ丘区民センターの検討状況と、ふれあい館と図書館の機能の導入について、区の見解を求めらる。

三(二)

次に、(仮称)桐ヶ丘区民センターの建設について、お答えします。

(仮称)桐ヶ丘区民センターは、「北区基本計画二〇一五」において、地域コミュニティ活動の拠点施設として計画に位置付けております。

また、都営桐ヶ丘団地第六期建替計画においては、団地南側に位置する創出用地Aに、整備することとしています。

今後、区民センターの整備を進めるためには、団地内に新設する公共公益施設の再配置などの協議や、建替事業の進捗、さらには、建設予定箇所となる創出用地Aの事業環境が整う必要があります。

(後頁へ続く)

すどう あきお

公 明

個 人

七

(前頁から続く)

区としましては、地域の方々の期待に

早期に応えられるよう、改定する新基本計画に

改めて計画事業として位置付けてまいります。

なお、導入する機能につきましては、

既存の区民センター機能を考慮しつつ

公共施設再配置方針等を踏まえ、

地域振興室やふれあい館、図書館などを含め、

周辺の公共施設の状況を見ながら

検討してまいります。

すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

### 三 地域課題について

(三) 赤羽台さくら並木公園周辺道路の工事について

ア、無電柱化を進める提案について、区の見解を求める。

#### 【要旨】

赤羽台さくら並木公園周辺の道路、補助百五十七号線の諏訪神社から八幡小学校に向かう通りは、桜の名所として昔から親しまれてきた。しかし桜の樹齢から植え替えると、道路整備を複数年かけて行う計画が進行中。災害拠点病院である東京北医療センターの真下にあり、災害時の緊急搬送など、非常に重要な通り。桜植え替えの今こそ無電柱化に取り組み災害時の電柱の倒壊による交通障害を防げる。植えた桜が育つ前に無電柱化を進めていただきたく、提案する。区の見解を求める。

すどう あきお

公 明

個 人

七

三(三)ア

次に、赤羽台さくら並木公園

周辺道路の工事についてのご質問にお答えします。

はじめに、無電柱化を進める提案についてです。

本年三月策定の北区無電柱化推進計画では、

基本方針を定め、都市計画道路などの

新設・拡幅整備等に合わせて、

無電柱化を優先的に進めることとしております。

ご提案の補助百五十七号線につきましては、

道路のバリアフリー化を図ると共に、

景観上重要な桜並木通りを保全する

必要がありますので、

現状の改修計画を進めてまいります。

今後、北区無電柱化推進計画の

見直しの際に、必要性を検討してまいります。



すどう あきお

公明

個人

七

(質問の事項及び要旨)

### 三 地域課題について

(三) 赤羽台さくら並木公園周辺道路の工事について

イ、防災の観点から、この（赤羽台三丁目の道路拡幅）工事を早急に求める。区の見解を。

#### 【要旨】

赤羽台さくら並木公園周辺の道路、補助百五十七号線の諏訪神社から八幡小学校に向かう通りは、桜の名所として昔から親しまれてきた。しかし桜の樹齢から植え替えると、道路整備を複数年かけて行う計画が進行中。この通りの八幡小学校北バス停がある赤羽台三丁目十四番地と十五番地の間の通りの道路が狭すぎて消防車入れない。通り奥は住宅密集地域。災害時や火災時に被害が甚大になる可能性が高い。防災の観点から、この工事を早急に求める。この提案に関し、区の見解を求める。

すどう あきお	公明	個人	七
---------	----	----	---

三(三)イ

次に、防災の観点からの、赤羽台三丁目の道路拡幅工事のご質問についてです。

ご提案の細い道路は、

地元自治会からも要望をいただいております、課題と認識しております。

また、当該道路と接続する桜並木の補助百五十七号線の整備は、

四期目となる令和二年度を予定しています。

このため、本年度は、拡幅整備に向け、都営住宅用地側への後退が必要となりますので、東京都と協議を進めてまいります。